

みんなで……

- 公害をなくしましょう
- 木と花を植えましょう
- スポーツを楽しみましょう
- 暴力を追放しましょう



くすのき学園4月1日に開園

精神薄弱者の通園授産施設「くすのき学園」は、昨年12月から大淵
 帯沢（ふじやま学園北側）に建設をすすめています。工事は順調
 にすすみ4月1日に開園します。現在、市内には111人の精薄者が
 います。ところが、施設に入所できない101名の在宅者の社会復帰
 が問題になっています。このため、精薄児の施設市立ふじやま学園
 と併用した、社会復帰への授産施設の建設が望まれていましたが、
 ハートビル会や若尾高綱さん（加島町）らの協力によってこのほど
 建設されたものです。くすのき学園は、総工費2145万円で敷地面積
 は6666平方メートル、ここに鉄骨簡易耐火平家建て546平方メートルの施設がつ
 くられています。作業は袋張り（ゴミ袋など）と袋詰め（ステアリ
 ング）で、定員は30人です。なお、市福祉事務所は入所希望者の募
 集（4ページ掲載）していますので、希望する人はお申込みくださ
 い。

【写真は市立ふじやま学園北側に建設されている精神薄弱者の授産施設「くすのき学園」】

最大着地濃度が0.024PPmに

亜硫酸ガスの排出基準が改正

大気汚染防止法に基づく「亜硫酸ガスの一般排出基準」の改正が、昨年12月25日に告示されましたが、2月1日から施行されました。この改正は昭和43年12月に大気汚染防止法が施行されてから最初のもので、さきにきめた環境基準を期限内に達成するため新基準を設けたものです。

一般排出基準の制定は、各煙突から排出される亜硫酸ガスの着地濃度を地域ごとに規制するものです。

いままでは、全国の汚染地域29地区を指定し、汚染の程度によつてA地域、B地域、C地域の3段階に区分しました。亜硫酸ガスは最大着地濃度をそれぞれ、0.035PPm、0.045PPm、0.050PPmに規制しました。

しかし、この排水基準は施行されたときから自治体の担当者や専門家のあいだで「あますぎる」という批判が強く、汚染のひどい都市では実態より後退するところもありました。富士市もB地域(0.045PPm)に指定されましたが、市独自の指導基準を設け、最大着地濃度を0.020PPm以下にするように指導してきました。

こうしたことから、厚生省と通産省は全指定地域の汚染状況調査資料を検討して、このほど改正を行なうことになったものです。

新基準によると、指定地域も35地域にふやし、これを汚染状況などによつて8段階にわけてあります。最大着地濃度も0.020PPmから0.045PPmの8段階にわけて規制されています。これはいままでの0.035PPmから0.050PPmよりか

なりきびしく、一番ゆるい8段階目でも旧基準のB地域と同じになっています。

富士市は新基準で3段階目に指定され、最大着地濃度は0.024PPmに規制されました

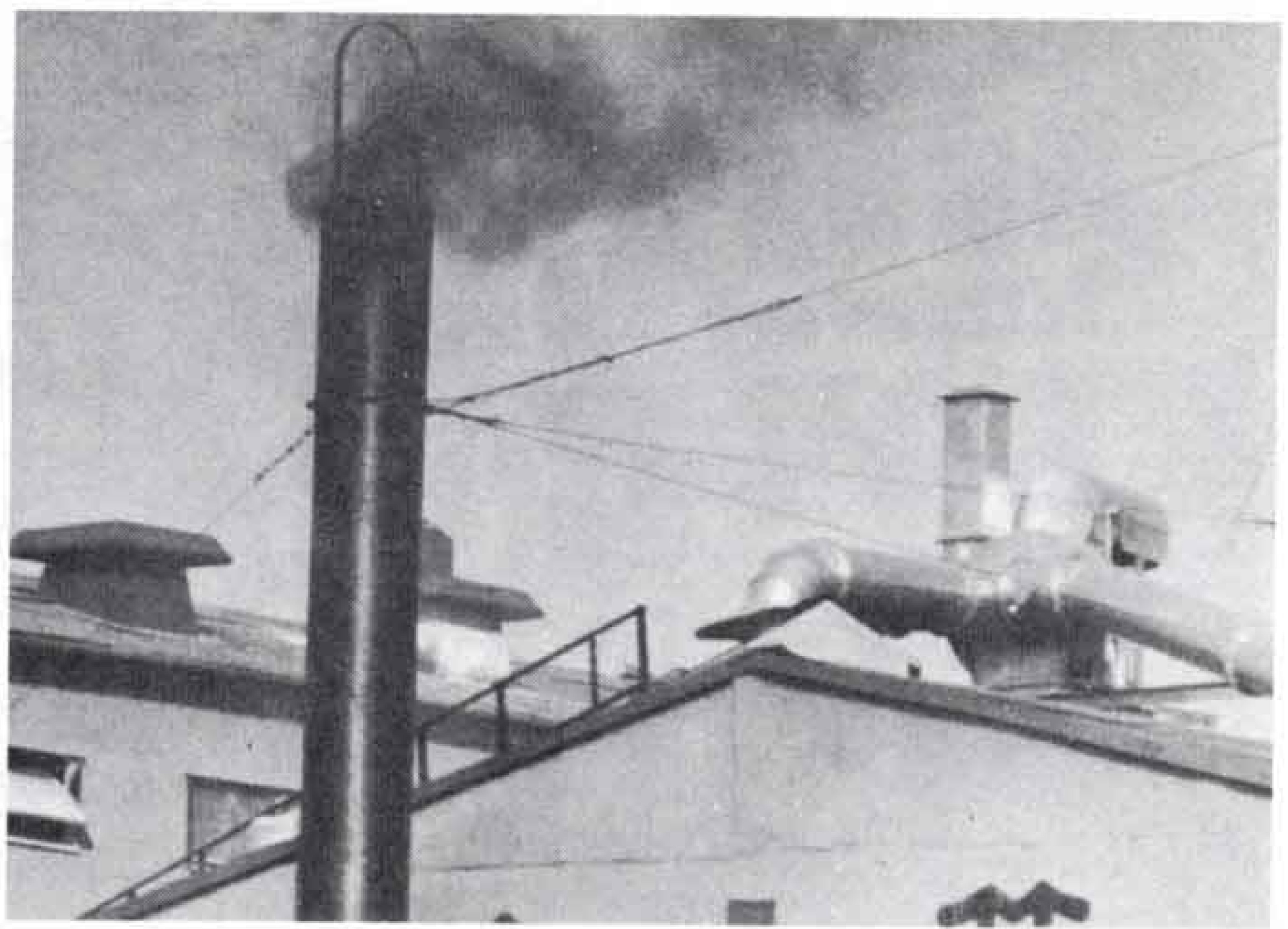
なお、この基準も当面2年間の適用を目的としたもので、厚生省通産省は46年と48年も改正を予定しています。

市公害課と県公害課は、昨年10月に187事業所のばい煙発生施設335施設の総点検を行ないました。

これによると、旧基準の0.045PPmによつて検討したところ、大手26工場の42煙源のうち不適合施設40.5%あり、中小工場を含めた159煙源についても23.9

%の不適合施設がありました。煙突の調査は大小224本を対象に行ないましたがこのうち129本は20%未満の低煙突で、10%未満の煙突も37本あり、平均すると22%でした。

こうした実態から市は現在の汚染を防止するため、地上着地濃度を0.020PPm以下という指導基準を設け、企業の協力を得て行政指導を行なってきました。この市の指導基準に適合しない施設は全体の50.4%、今度の新基準に適合しない施設は44.5%もあり、他都市にくらべ驚くほどの高率の不適合施設があることがわかりました。これらの不適合施設を新基準に適合するように改善することによつ



【市内には20%以下の煙突が129本もあります。煙突などの施設改善をすれば大気汚染は大幅に減少します。】

て、現在の汚染が30%くらい減少きで見込みです。

豆 知 識

■着地濃度—煙突の高さ、煙の排出速度、煙の吹まあがる高さ、などで計算し、煙突1本あたりの排煙が最悪の条件で地上に落ちたときの濃度。

■大手26工場—市内の重油消費量の89%を占める企業で、1日に重油を12~15キロ以上を使用し、排水するイオウ酸化物も毎時10Nm³以上の企業。

■PPM—1立方センチの大気中に亜硫酸ガスが1立方センチ含まれている状態で100万分の1。100万円のうち1円と同じ。

指定された地域
亜硫酸ガスの排出基準と
改定された

ラング	最大着地濃度 (PPm)	指定地域
①	0.020	東京A、横浜・川崎、四日市、大阪・堺、神戸・尼崎
②	0.022	千葉、倉敷、鹿島
③	0.024	室蘭、富士、名古屋、明石・姫路、和歌山・海南、北九州、大分
④	0.027	川口、京都、札幌
⑤	0.030	日立、東京B、岸和田、大竹、岩国、新居浜・西条、大牟田、荒尾
⑥	0.035	新潟、富山・高岡、宇部・小野田
⑦	0.040	呉、徳山・南陽・下松
⑧	0.045	釜石、延岡、八戸、仙台・塩釜

イオウ酸化物

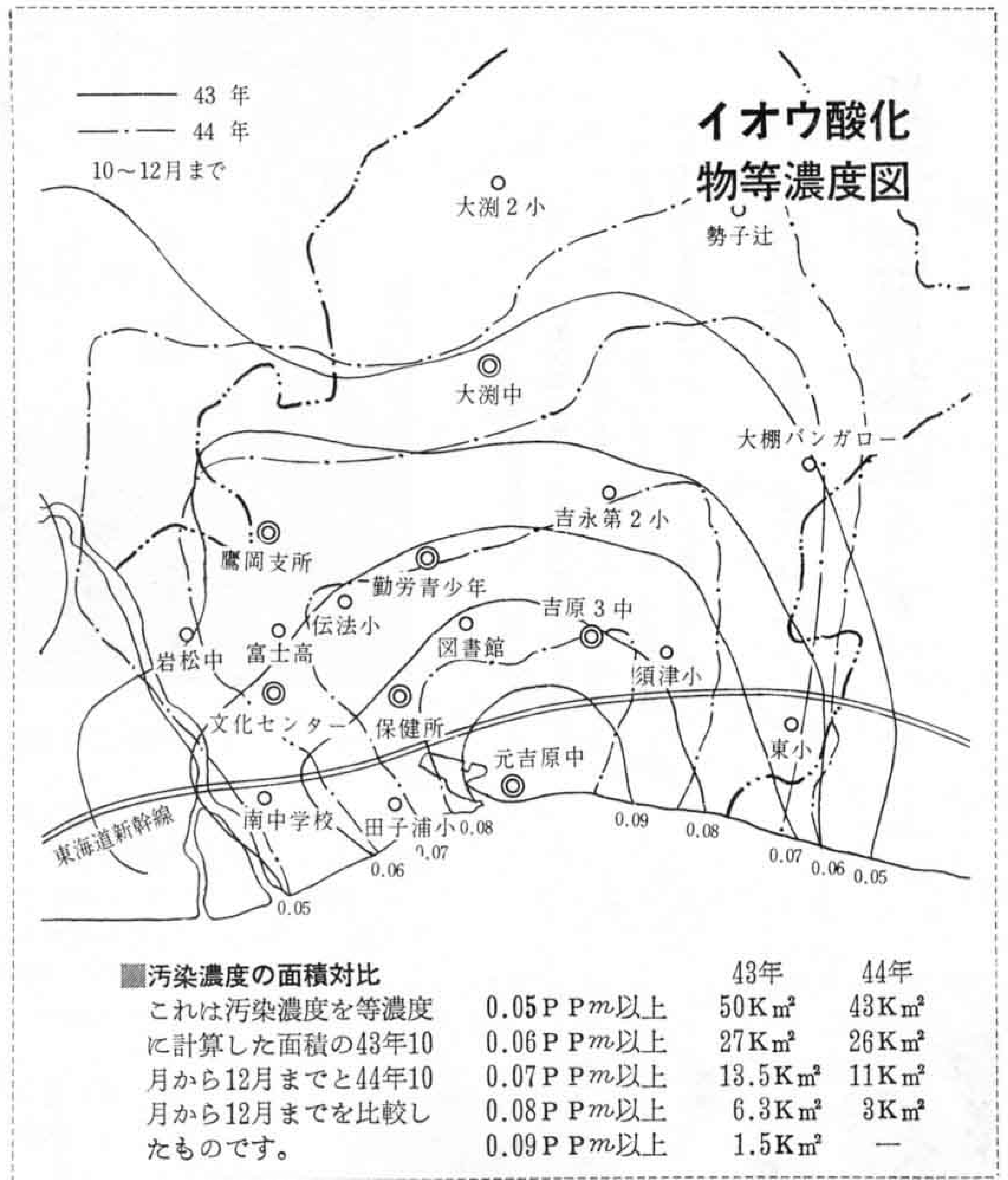
全体に昨年よりやや少くなる

…44年10月～12月までの測定結果…

昭和44年10月から12月までの3カ月の、自動記録計によるとイオウ酸化物の測定結果が市公害課から発表されました。測定結果によると、富士事務所0.048 P P m (43年同期0.054 P P m)、鷹岡事務所0.046 P P m (同0.055 P P m)、富士保健所0.070 P P m (同0.075 P P m)、元吉原中学0.089 P P m (同0.103 P P m)の4測点で汚染が減少しています。

しかし、第3中学0.067 P P m (43年同期0.056 P P m)、勤労青少年会館0.044 P P m (同0.042 P P m)、大淵中学0.036 P P m (同0.034 P P m)の3測点はふえています。

現在市内の重油使用量は日量2700トンと、43年にくらべ約400トン多くなっていますが、全体に汚染が減少しているのは、企業が低イオウ重油を使用しはじめた効果と思われます。なお、警報や注意報をだす緊急時は、43年10月から12月までに4回ありましたが、昨年同期にはありませんでした。次回の発表は4月下旬の予定です。



イオウ酸化物の測定結果

43・10～12と44・10～12の対比

測定場所	測定期間	測定日数	測定時間数	1時間値 期間平均 (P P m)
富士事務所	44年 10～12	92	2.172	0.048
	43、 10～12	91	2.146	0.054
第三中学校	44、 10～12	92	2.140	0.067
	43、 10～13	91	2.148	0.056
勤労青少年会館	44、 10～12	89	2.069	0.044
	43、 10～12	90	2.102	0.042
鷹岡事務所	44、 10～12	89	1.994	0.046
	43、 10～12	85	1.978	0.055
大淵中学校	44、 10～12	52	1.190	0.036
	43、 10～12	88	2.066	0.034
富士保健所	44、 10～12	83	1.897	0.070
	43、 10～12	84	1.900	0.075
元吉原中学校	44、 10～12	89	1.995	0.089
	43、 10～12	83	1.892	0.103

月別一時間値平均対比

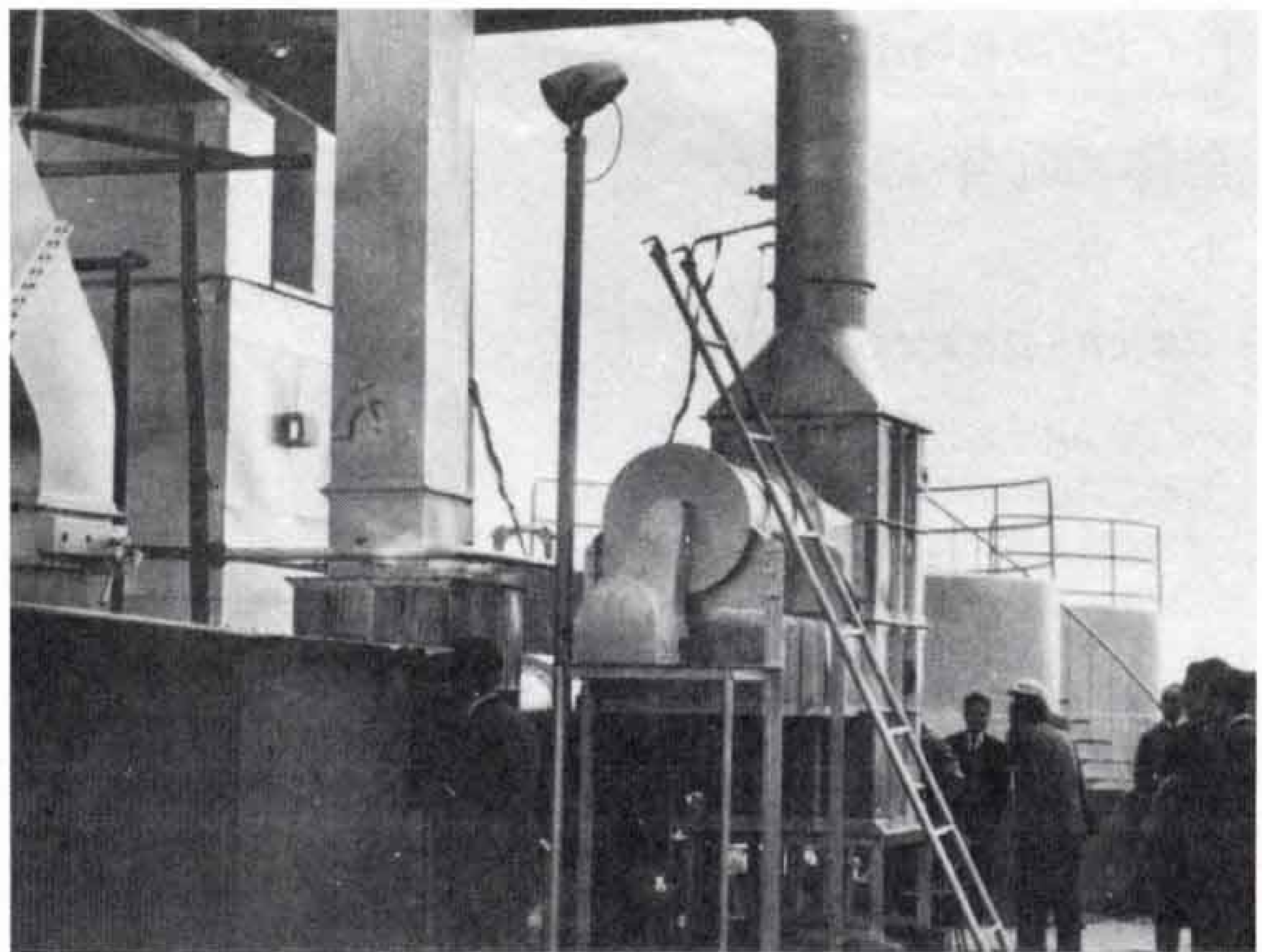
測定場所	10月	11月	12月
富士事務所	0.046	0.051	0.047
	0.054	0.051	0.056
第三中学校	0.068	0.065	0.068
	0.051	0.058	0.059
勤労青少年会館	0.045	0.045	0.041
	0.042	0.040	0.043
鷹岡事務所	0.046	0.046	0.046
	0.052	0.056	0.057
大淵中学校	0.043	0.016	—
	0.037	0.033	0.031
富士保健所	0.049	0.067	0.093
	0.070	0.080	0.074
元吉原中学校	0.096	0.097	0.073
	0.070	0.116	0.122

■ 犬の放し飼いはやめましょう。

排煙脱硫装置をテスト

神工式(富久興製紙)と日比野式(天間製紙)

され、現在その効果調査が行なわれています。プラントが富久興製紙と天間製紙にさきごろ設置されています。このうち、排煙脱硫のパイロットプラントによる拡散、排煙脱硫を三本の柱に施策をす市は大気汚染を防ぐため、重油の低イオウ化、高



【天間製紙に取り付けられた日比野式排煙脱硫装置】

この排煙脱硫装置は、県、市、業者が協力してつくったものです。

富久興製紙に据え付けられた排煙脱硫装置は神奈川県工業試験場で開発したもので「神工式排煙脱硫プラント」と呼ばれるものです。

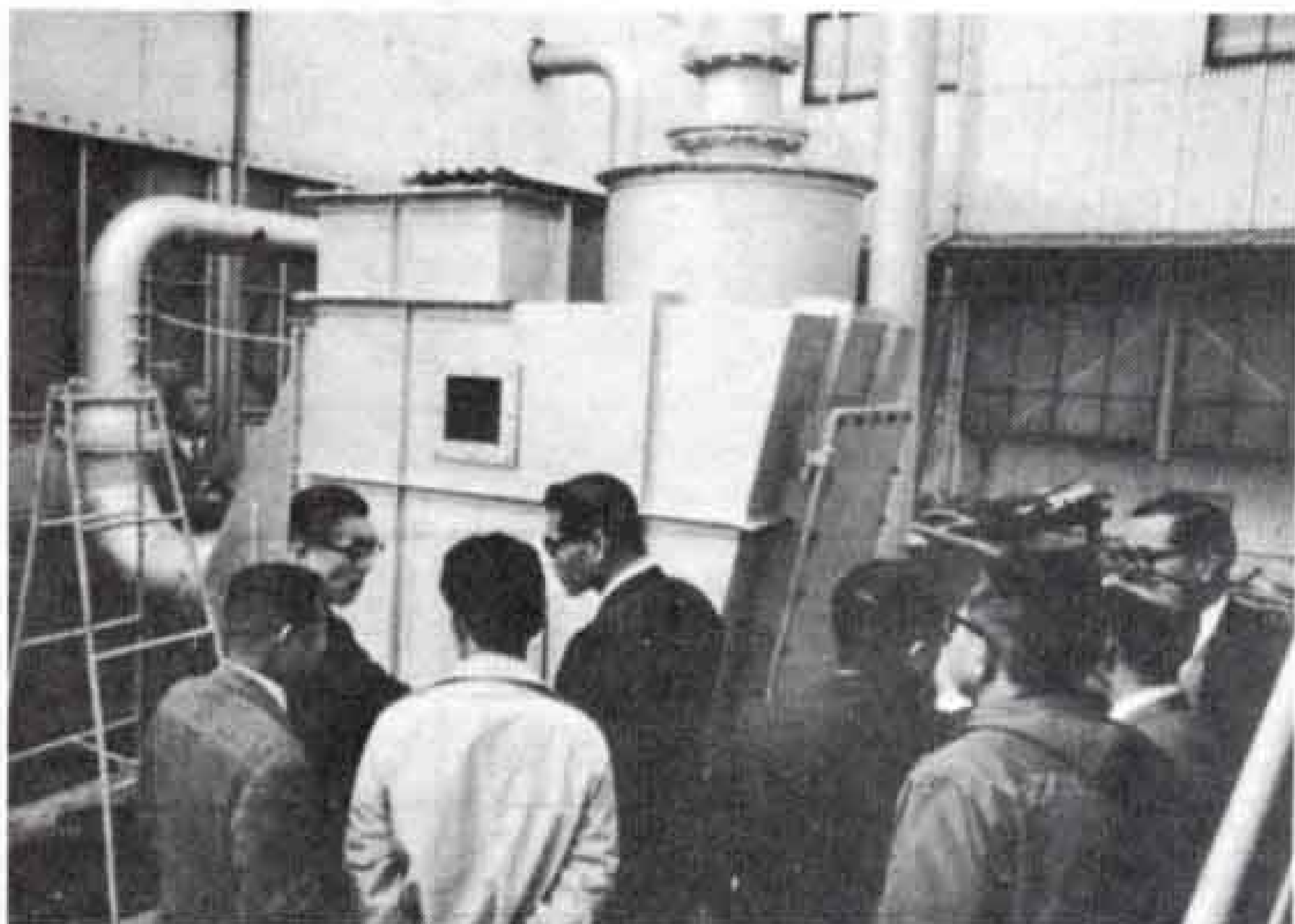
処理能力は毎時1500立方メートル。特徴としては製紙の汚水を利用することです。まず、網目のようになつた幾重もの水膜の中を排ガスを通し、亜硫酸ガスを取り除きます。亜硫酸ガスを取り除いた排ガスは煙突によつて大気に放出するという間接脱硫法です。

天間製紙に据え付けら

れたのは日比野郷三さん(東比奈)が開発した「日比野式排煙脱硫装置」です。この日比野式も工場排水を利用する方法で、汚水の中に排ガスをジェット噴流し亜硫酸ガスを取り除きます。処理能力は毎時5000立方メートル。

効率は相方とも60%から80%の亜硫酸ガスを吸収できるといわれ、しかも、製紙汚水を利用でき、アルカリ排水を中和できるなど一石三鳥の効果が期待されています。

なお、この装置がどれだけ脱硫効果があるかという調査のほか、長期運転性能テスト、経済性の検討などを総合的に調べています。3月末までに調査資料をまとめますが、期待どおりの効果があれば各製紙工場に増設することによつて、亜硫酸ガスの大幅な減少が見込まれます。



【富久興製紙に取り付けられた神工式排煙脱硫パイロット・プラント】

くすのき学園の園児を募集

精神薄弱者の通園授産施設「くすのき学園」が4月1日に開園しますので、市福祉事務所は入所希望者を募集をしています。(関連記事は1頁に掲載)

■対象は

- ・市内に住んでいる満15歳以上の男女
- ・自分の身の回りのことや軽作業が

できる人

- ・いろいろな事情で家庭にいる人
- ・通園できる人(一定の場所までマイクロバスで送迎します)

■作業の内容は

- ・ゴミ袋などの袋張り

- ・ステアリングなどの袋詰め

■特色は

- ・給食設備があります
- ・作業報酬が支給されます

■申込み先は

市福祉事務所児童係(吉原事務所 電話52-3111)

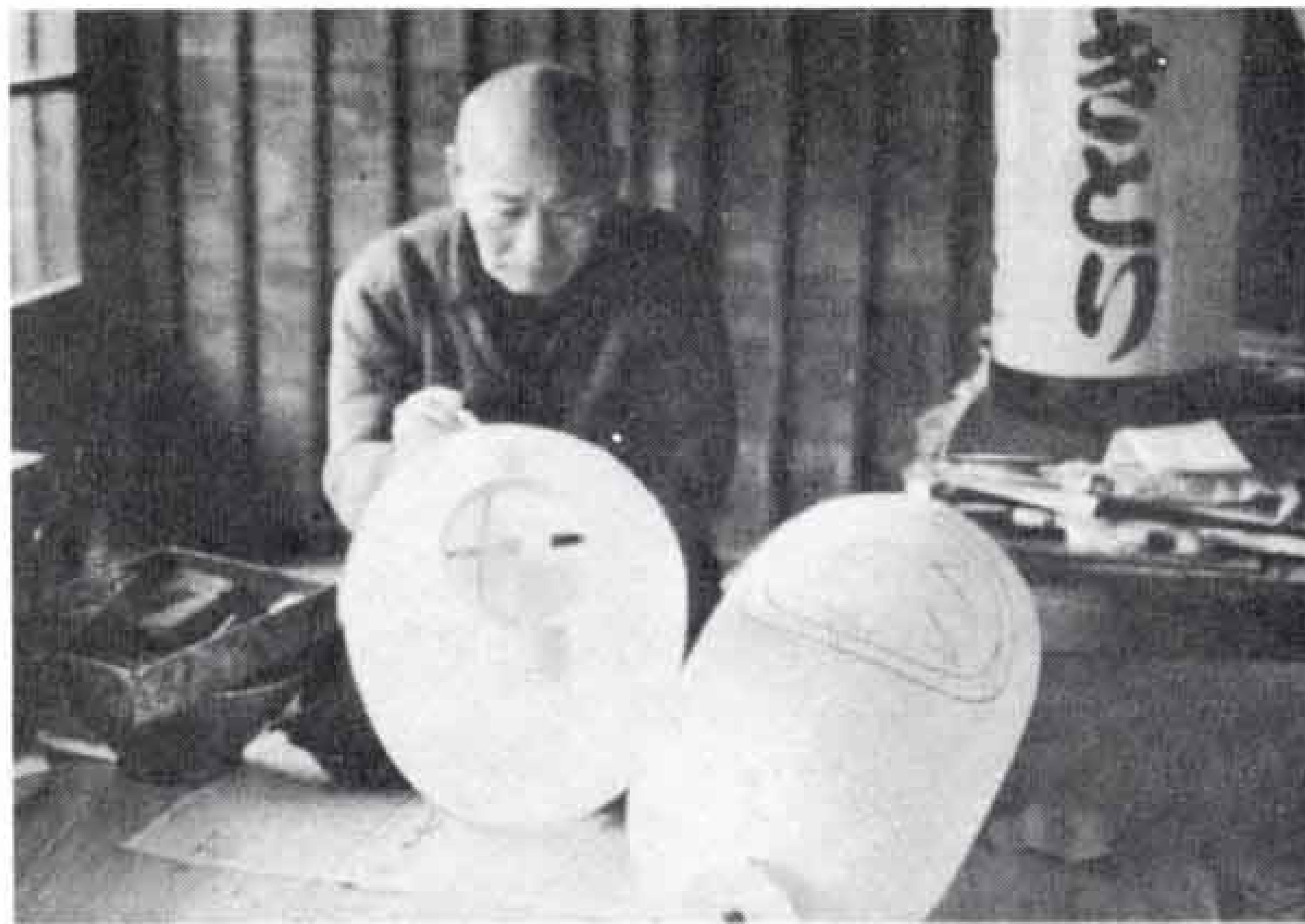
■申込み期間は

昭和45年2月28日まで

2月28日までに申込みを

チヨウチン作り60年の
羽田さんが受賞

— 県優秀技術者で —



【80歳とも思えぬ元気さでチヨウチン作りにはげむ羽田さん】

県下でも優秀な「職人」として市内から羽田武義さん（泉町・80歳）と、市川治兵衛さん（水戸島南・52歳）が選ばれさきごろ県優秀技能者として表彰を受けました。

この表彰は、県職業訓練課がことしから技能水準の向上をはかるために設けたもので、県下で15人が表彰を受けました

羽田さんは大正時代に今泉村に塗装店を開いてこの道60年。チヨウチン屋のおじいさんとみんなから親しまれ、いまではチヨウチン作りのできるのは市内ではこの人だけ。羽田さんは「チヨウチン作りをやっているのはワシひとりになつて

しまつた。仲間がいなくなるのは淋しいもんだ。まあ、体のつづく限り働けだけさ。」と表彰にもたんたんとした面持ちいまでも元気に看板やチヨウチン作りにはげんでいます。

金属切削工作機械工で表彰された市川さんは、東芝富士工場の職長さん。機械と取り組んで40年。市川さんは「仕事だものつらいこと、嫌なこともいろいろあつたさ。でも、自分が好きでなつた仕事だからね。思い出すのは楽しかつたことだけだね。」と笑い飛ばす。いまは後輩の指導に飛び回っています。

飲酒運転追放コンクール

成績が悪かつたのは…

市交通課が昨年12月11日から1月10日まで実施した「飲酒運転追放コンクール」の成績が次のようにきまりました。なお、成績は違反などによつて減点したもので、順位は最下位（悪い順）からのものです。

■町内別成績

- Aブロック（人口1人～500人）
1位日吉町1 2位三ツ倉 3位新通り
4位大淵町3 5位西滝川
- Bブロック（人口501人～1000人）
1位江尾町1 2位広見町7 3位中村町
4位千代田町 5位中里八幡町
- Cブロック（人口1001人以上）
1位水戸島上 2位石坂 3位伝法町1
4位四丁河原下 5位依田橋

■職域別成績

- Aブロック（従業員1人～30人）
1位岡村屋商店 2位駿河コンクリート
- Bブロック（従業員31～100人）
1位西尾家具店 2位遠藤建設
- Cブロック（従業員101人以上）
1位日本プラスト 2位昭和工業

今と昔

今と昔

田中新田 ⑪

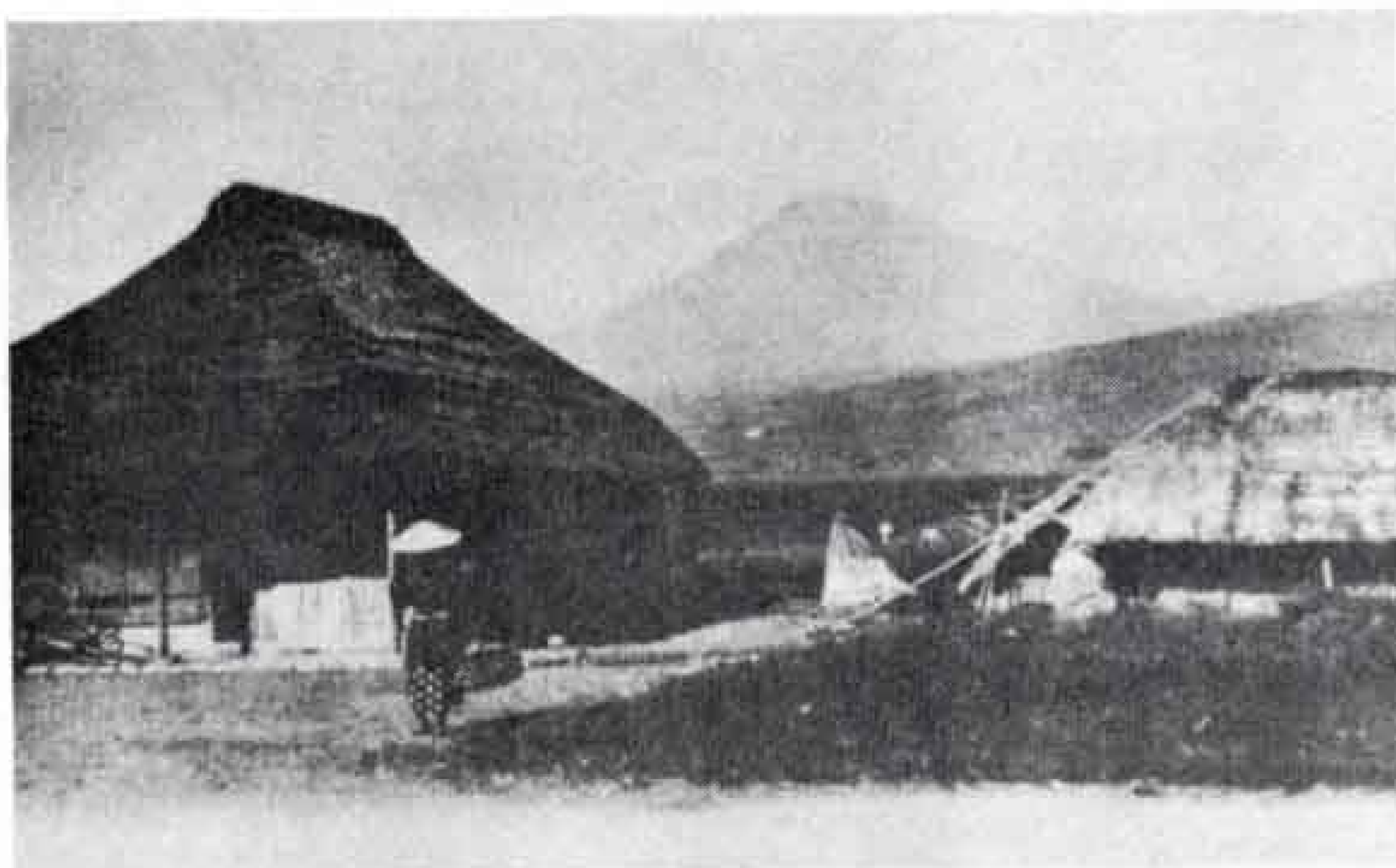
左の写真は明治40年ころの田中新田地先です。東海道の南側から民家と富士山を写したものです。

この民家は田中新田に住んでいる高木治作さんの先祖の住いでしたが、いまこの場所には上野好雄さんの住いが建っています。

そのころ、東海道の南側は民家が連なつていましたが、北側はまばらでした。写真の高木さんの家は北側で、メイホシ（昭和放水路）に一番近く、部落の東端でした。軒下は大八

車が見えます。この大八車で毎日大宮（富士宮市）へ野菜の行商に行つたということです。家の前に立っている婦人は、高木のぶさん（88歳）の若き日の姿です。

なお、左の写真の民家は大正の初め200坪くらい西へ移転しました。15坪の本屋の藁をはぎとり、骨組みはそのままこわさないで、近所の人たちが東海道（国道1号線）いつぱいに広がつて、2時間あまりかかつて運んだということです。いまでは1分間に500台の自動車走るといふ国道1号線。なんとなく当時懐しくしのべれます……。 （鈴木富男稿）



お知らせ



国保の資格得失は すぐ届けを

…届けは市民課窓口、各支所…

みなさんは会社へ勤めたり、会社をやめた場合、国民健康保険の手続きをしていますか。会社へ勤めたり、やめたときはすぐに加入、異動届をしてください。

会社など勤め先をやめ、被用者保険(社会保険)のなくなつた人は、やめた日から14日以内に国民健康保険に届けすることになつています。手続きに必要なものは、被用者保険資格喪失証明書(会社で発行してくれる)と印鑑です。

また、会社などへ勤めるようになり被用者保険(社会保険)へ加入した人も14日以内に届をすることになつています。

手続きに必要なものは、被用者保険資格取得証明書(会社で発行してくれる。扶養家族がなく本人だけの場合は勤め先の保険証)、国保の保険証、印鑑です。

届け出の受け付けは各事務所市民課窓口および各支所で行なつていきますので、本人が手続きをしてください。

古文書の解読講習会 開く

…2月14日中央図書館で…

市立中央図書館は、古文書解読講習会を次のように開きますので、受講を希望する人はおでかけください。

■日時は

45年2月14日午後2時から

■場所は

市立中央図書館

■講師

静岡大学教授 若林淳之

※テキスト代 100 円をお持ちください。

社宅、寮の建設に 資金を融資

県住宅課は、昭和45年度の住宅建設資金融資の申込み受け付けを次のように行ないます。

■厚生年金勤労者住宅

- 申込み条件は、厚生年金保険適用事業所で従業員300人以下の事業所
- 申込み戸数は、原則として5戸以上。単身者16人以上
- 特徴は、県の標準設計によつて県が工事を行ない、全額融資されます
- 償還方法は、15年元利均等月賦償還で

利率は年6分5厘です

- 申込み期間は、2月20日から2月28日までと、4月1日から4月10日までの2回
- 申込み先は、富士土木事務所建築住宅課(市内本市場)です

■日本住宅公団特定分譲住宅

- 申込みの条件は、5人以上の従業員を使用する事業主
- 融資額は、住宅1戸当り127万円から145万円。利率は年7分5厘。償還は中小企業は20年以内、大企業が15年以内です
- 申込み期間は2月2日から2月20日までと4月1日から4月30日までの2回
- 申込み先は県庁住宅課です

定例行政相談を一時 中止します

…苦情、要望は直接相談員に…

国、公社、公団などに対する要望や苦情などを受け付ける「行政相談」は、毎月第2、第4水曜日に開いていましたが、新庁舎への移転など事務の都合で2月から「定例相談」を当分のあいだ中止します。

なお、自宅受け付けはいままでどおり毎日行ないますので、相談ごとがあるときは相談員に直接申し出てください。相談員の連絡先は次のとおりです。

• 遠藤栄さん

富士市松本 61-1234

• 井出安江さん

富士市富士見町 52-0770

入札参加を希望する 業者は参加願を

…3月20日までに総務部管理課へ…

市総務部管理課は、昭和45年度の物品や工事などの入札、見積合せの参加願いの受け付けを行ないます。希望する業者は次により参加願いを提出してください。

■受け付け期間

昭和45年2月2日から3月20日まで

■申込み先

総務部管理課(本庁 電52-6111)

※用紙は同課と富士建設業協会(本市場)

市県民税

確定申告の受け付け 2月19日から

市民税課は、昭和44年分の市県民税の申告受け付けを次のように行ないます。

■吉原地区

- 富士財務事務所 3月2日~3月16日
- 元吉原支所 2月19日、20日
- 須津支所 2月23日、24日
- 吉永支所 2月25日、26日
- 大淵支所 2月27日、28日
- 原田支所 3月2日、3日

■富士地区

- 富士事務所 3月16日まで
- 岩松公民館 2月19日、20日、21日
- 中丸公会堂 2月22日、23日
- 田子浦公民館 2月24日、25日

■鷹岡地区

- 鷹岡事務所 3月6日~16日まで

なお、市県民税の申告は所得税の申告をする人は必要ありません。

■所得税の確定申告と

納税相談は富士税務署へ

—2月23日から3月16日まで—

いままでは、所得税の確定申告は富士税務署と富士財務事務所の2カ所で行なつていましたが、今年から富士税務署だけになりましたので注意してください。

申告と相談期間は2月23日から3月16日までです。